

認知症サポーター 4,000人目標達成記念イベント

～認知症の人とともに輝く下野市をめざして～

下野市は「認知症になってもいきいきと安心して暮らせる下野市」を目標としています。その取り組みの中で、平成21年度から認知症サポーター養成講座を開催しています。平成27年度には平成29年度までに65歳以上の高齢者3人に1人の認知症サポーター4,000人養成を目標に掲げ進めてまいりました。このたび6月末に4,000人に到達いたしましたので、認知症サポーター4,000人達成イベントを開催します。多くのみなさまの参加をお待ちしております。



- **日 時** 10月16日(日)
午後0時30分～4時
- **会 場** 南河内公民館大ホール
- **内 容**

- 記念式典
- 記念講演

テーマ「支える側が支えられるとき
～認知症の母が教えてくれたこと～」

講 師 藤川 幸之助 氏 (詩人・児童文学作家)

- ミニシンポジウム

テーマ「地域の人に伝えたいこと」

シンポジスト：介護者の方 サポート医 ケアマネジャー他

コーディネーター：NPO法人風の詩 永島 徹 氏

扉^{とびら}

認知症の母を
老人ホームに入れた。

認知症の老人たちの中で
静かに座って私を見つめる母が
涙の向こう側にぼんやり見えた。
私が帰ろうとすると
何も分かるはずもない母が
私の手をぎゅっとなつかんだ。
そしてどこまでもどこまでも
私の後をついてきた。

*

私がホームから帰ってしまおうと
私が出ていった重い扉の前に
母はびたっとくっついて
ずっとその扉を見つめているんだと聞いた。

それでも

母を老人ホームに入れたまま

私は帰る。

母にとっては重い重い扉を

私はひょいと開けて

また今日も帰る。

『満月の夜、母を施設に置いて』(中央法規)

藤川 幸之助

■申し込み・問い合わせ先

基幹型地域包括支援センター ☎(44) 1 1 1 8

※所定の申込用紙にて、FAXで申し込みください。 ☎(44) 3 0 0 2